



(公財)柏崎地域国際化協会ニュース

第38号
March 2026

編集・発行/ (公財) 柏崎地域国際化協会
(監修/ 柏崎市産業振興部商業観光課)

新潟県柏崎市東本町1-3-24 市民プラザ2F
TEL&FAX 0257-32-1477 E-mail:kaia2006@kisnet.or.jp

「多様性を考えるin柏崎」 ～多文化社会のコミュニケーション～

令和7年8月30日、帝京大学日本語教育センター教授有田佳代子先生をお招きし開催しました。有田先生には、具体的な話題から考えるワークショップを取り入れて、講話を進めていただきました。「複数の海外の言語や文化に触れることは、多文化共生や多様性への理解を深めることに繋がる。そして、平和を守ることにもなる」とご教授いただきました。また、「大人も子どももアンテナを張ることが、より良いコミュニケーションに繋がる」ともアドバイスをいただきました。

7名の外国出身の皆さんを含む42名の参加者の皆さんからは、会が進むにつれ多様な意見があがり、柏崎市の活気を感じる1日となりました。「柏崎は、人材豊富ですね」との有田先生のご感想、心強く思います。



「峨眉山市訪問に寄せて」

(公財)柏崎地域国際化協会 理事長 三井田 史夫

平素より当協会にご支援頂いている柏崎市、個人及び団体賛助会員の皆様、そしてボランティアとしてご協力いただいている言語文化サポーターやスタッフの皆様、改めまして感謝と御礼を申し上げます。

昨年は、令和7年度の中国友好都市交流事業の一環として実行委員会が組織され、峨眉山市訪問と淮安区招請を計画しました。両都市とは友好都市協定締結後、コロナ禍で一旦中止しておりましたが、峨眉山市長から柏崎市長に書簡が送られ招請を受けたことから、櫻井市長を団長に阿部市議会議長、西川商工会議所会頭と共に昨秋訪問実施いたしました。峨眉山市では友好都市締結20周年式典に招待され、両市の絆を再確認し、今後の青少年交流再開を目指した表敬訪問でありました。国力の差は感じさせられたものの、峨眉山市の温かい心からの歓迎やおもてなしに触れ、また中国文化の体験、体現もどこか郷愁に駆られるひと時で、両市が尊重し合える関係性は必ずや構築できると実感しました。

しかしながら帰国後、間もなくして本年2月に予定していた、もう一方の友好都市淮安区招請事業である、淮安区中学生訪問による青少年交流事業が中止になったのは残念に思います。日々、めまぐるしく移り変わる社会情勢の中では致し方ない所もありますが、今回の峨眉山市訪問が友好の襷を繋ぐ役割となって、再度両国の次世代を担う若い力が友好の名のもとに、交流事業が再開され国際感覚を養い、貴重な経験を積めるよう願うばかりです。

本年はお陰様で、協会創立30周年を迎えます。設立当初は日本がODA（政府開発援助）の拠出総額が世界一位となっており、国の国際交流の基本方針も国際貢献が大きな位置を占めていました。当協会の事業も交流から貢献へそして共生へと時代は流れています。今後更に持続可能な未来を目指し、地球市民としての意識の高揚につながれば幸いに思います。

令和8年11月15日(日) 創立30周年記念式典・交流会実施予定

■協会賛助会員登録数 個人 135人 団体 44社

■外国人住民数 総数 983人(柏崎市2026年1月末現在)

チームKAIIA発足～市民大運動会参加～

10月5日(日) 陸上競技場 天気：曇りのち雨



27名の外国出身者とワンチームで参加しました。ボール運びレースでは、組優勝を果たし、幸先の良いスタートを切りました。なかなか入らない大玉に苦心した玉入れにも熱中し、パン食いクライマックスリレーでは、真剣にパンにかぶりついて、上位を目指しました。日本ならではの楽しい競技のオンパレードと雨の中の応援は、大切な思い出の1コマになりました。

～歴史ある「日本語教室」～



小学生から社会人までの外国出身者を対象に開講しています。講座の前半は、日本の文化を体験しながら、四季を楽しめる工夫を取り入れています。後半は、小グループまたは個人に分かれ、それぞれが必要とする日本語学習を実施しています。地域の日本語教室として、「地域社会への窓口」の役割も担っています。

がんばっています! 柏崎人 コディタンハーさん(ベトナム出身)

Q1. 自己紹介をお願いします。

日本に来て6年になります。埼玉県で2年間仕事をし、新潟市の大学院で2年間、そして、柏崎市内の企業に就職をして2年目になります。

Q2. 柏崎の住み心地を聞かせてください。

大きな音に感わされることなく、プライベートの時間を、自分の好きなことに費やせる街だと思います。私は、英語や中国語の勉強をして、充実した日々を過ごしています。また、友人と出掛けることもたくさんあります。去年は、パワースポットを訪ねたり、登山に挑戦したりと新潟を満喫しました。日本に来たばかりの時は、お刺身が苦手でしたが、今は大好きです。柏崎で食べるお魚やお寿司はとてもおいしいです。



Q3. ハーさんが、ベトナムの友達に柏崎を紹介する時、何を紹介したいですか？

まず、夕陽です。海に沈む太陽は感動的ですね。その海でできる海水浴やサーフィン、釣りは魅力的です。真っ白な雪景色も綺麗で、ベトナム人は好きになると思います。私は、柏崎の夏は関東に比べて過ごしやすと感じます。去年は7月に「民謡流し」に参加しました。大きな道路で大勢が日本の舞踊を踊る夏祭りの文化は、日本らしいと思います。こんな風に話していると、柏崎には良い所がたくさんあると、今までよりも強く思うようになっていきます。

Q4. 去年の「春待ちフェスタ」で、ベトナムブースを担当していただきました。いかがでしたか。

アオザイというベトナムの民族服を紹介しました。たくさんの方々に試着してもらい、忙しかったですが、嬉しい時間でした。また、柏崎に住んでいるベトナム以外の外国出身の方々にも試着してもらって、不思議な気持ちになりました。このような機会でごそ出来た多文化の交流だったと思います。

Q5. 「多言語支援センター立ち上げ訓練」という避難訓練にも参加していただきました。感想を聞かせてください。

ベトナムの災害といえば、洪水です。毎年7、8月に洪水が発生しています。被害を予想する地域の方々は、家財を2階に運んだり、車を専用のビニル袋で覆ったりしながら、洪水に備えています。ベトナムは、地震がなく、避難訓練もありません。参加した訓練では、もし避難所に避難した時、私ができることは何かと考えるきっかけとなりました。

今後も、ベトナムを紹介するチャンスがあれば良いなと思っています。また、様々な講座への参加も楽しみにしています。

事業報告 (主な主催事業)

6月 日本文化体験「ゆかたでGO! to えんま市」

昨年度に大好評をいただいた講座の第2弾!外国出身者を対象に、「えんま市」初日に開催しました。「浴衣の今昔」講座終了後、色合い豊かな浴衣をまとった皆さんは、きっと日本の文化を堪能したことでしょう。美しい、賑やか、楽しい1日はアツと言う間に過ぎました。



7月 多文化理解講座「タイを知りたい」

微笑の国「タイ王国」の文化と食に迫りました。「マッサマンカレー」はジャスミン米と絶妙の組み合わせ、タイ特有の食材を使用したサラダ「ヤムウンセン」を食べると会話はずみ、交流が深まりました。「タピオカミルクティー」で心地よい満腹感で満たされた後には、たくさんの質問をしながらタイ王国に思いを寄せました。



8月 キッズサマースクール「プラザでギュッと3カ国」

夏休み恒例のキッズサマースクールを、3名の外国出身者と一緒に行いました。英語によるチーム対抗戦の後、初めて出会うカザフスタンの紹介に聞き入り、ウズベキスタン風ドッチボールで盛り上がりました。短時間で3つの文化に触れる、欲張りな企画となりました。



10月 多文化理解講座「熱烈!ヤンガー(秧歌)」

中国東北地方に伝わる伝統的な音楽に合わせる舞踊に挑戦しました。リズムカルなステップと、大きな扇子、カラフルな衣装で気持ちも華やぎました。また、体験型にとどまらず、ステージで披露できるような高い完成度を誇った交流講座となりました。



11月 国際理解セミナーアジアから世界を知る!「魅了!台湾の飲食文化」

(公財)新潟県国際交流協会からの委託事業です。

講師に、新潟産業大学名誉教授 詹秀娟先生をお招きし開催しました。前半は、時代と共に移り変わってきた「食」についての講義、後半は、数種類のお茶を講師自ら入れる実演会でした。五感の全てをつかって、台湾の飲食を満喫した講座となりました。



11.12月 多文化共生学校出前プロジェクト

市立榎原小学校では、5年生が外国出身者に学習の成果を紹介するという新しい企画での交流を行いました。訪問したサポーターからは、「おすすめ味のふしなりきゅうり漬けを食べてみたい」「皆さんが出身国の文化や言葉を調べていて嬉しかった」との感想が聞かれました。

県立はまなす特別支援学校では、インドネシア語で「幸せなら手をたたこう」で遊び、民族服の試着で華やぎました。また、韓国の投壺に熱中し、指先まで使ってK-popの踊りに挑戦しました。



2月 多文化理解講座「節分フェスタ」

本年度も体験型講座を開催しました。総勢150名の参加があり、会場狭しと笑い声が響きました。互いに写真を取り合い、いつの間にか熱中して、予定時間は瞬間に過ぎました。この度はスポーツ吹き矢や、ALTによる英語で母国の文化を紹介するブースも大人気でした。



春・秋・冬期 語学文化講座

英会話、韓国語と中国語講座を開催しています。各言語のみならず、講師出身国の文化紹介の時間を設けていることが特徴です。柏崎にいながら、定期的に多文化に触れることができる好評の講座です。



団体賛助会員（2026年1月末現在）

—— 協会への日頃のご支援とご協力に感謝いたします ——

We would like to thank the following sponsors for their continued support.

(株)アドバネクス	柏崎米山ライオンズクラブ	シモダ産業(株)	新潟工科大学	(株)最上屋
(株)新野屋	柏崎ライオンズクラブ	(株)創風システム	新潟産業大学	(株)米谷製作所
(有)イシグロ	北日本エンジニアリング(株)	大高建設(株)	二幸産業(株)	柏崎市
えちご中越農業協同組合	(株)キムラ・テクニクス	(株)高忠商店	(有)熱学工房	刈羽村
おぎた小児科医院	キムラ塗装工業(株)	田中工業(株)	(株)柏新商会	
(一社)柏崎観光協会	(株)協同電設	中華美食館	Papico(パピコ)	
(一社)柏崎市刈羽郡医師会	栗林電気管理事務所	(株)テック長沢	(有)ファーム・スタッフ	
柏崎信用金庫	(株)ケンブリッジ	テンプスタッフフォーラム(株)	藤村クレスト(株)	
(一社)柏崎青年会議所	(株)小林文英堂	東北工業(株)	(株)ブルボン	
柏崎日本海ライオンズクラブ	サンワーズ(株)	中村石油(株)	(株)ホソヤマ	(敬称略・順不同)

2026年度（公財）柏崎地域国際化協会会員募集中

多文化共生の地域・心あたたかな人づくりをめざし、地域の国際関連事業をより一層充実させていきます。多くのご参加をお待ちしております。参加すると利用できる会員特典もあります。皆さまのご支援、ご協力をお願いいたします。

◆ご入会（継続）方法

新規にご入会

入会申込書に必要事項をご記入の上、事務局へお申込みください。会費を事務局へ直接お持ちいただくか、口座振込もご利用いただけます。（入会申込書は事務局にあります。または、ご連絡いただければ申込書等資料を郵送いたします。）

前年度よりご継続

前年度団体賛助会員の方にはご案内を郵送いたします。会費の納入またはお振込をもちまして、継続入会とさせていただきます。

◆会員になるとこのような特典があります！

- 当協会主催講座参加費の優待割引
- 卓上国旗の貸出
- 通訳・翻訳サービスの利用（規定あり）など

◆会費について

1. 個人賛助会員…年額 1口 1,000円（何口でもご加入いただけます）
2. 団体賛助会員…年額 1口 10,000円（何口でもご加入いただけます）

◇期間は、入会日より、次の3月31日までです。

◇振込口座 ●柏崎信用金庫 本店 普通 0383802 口座名/（公財）柏崎地域国際化協会
 ●ゆうちょ銀行振替 00530-2-39284 口座名/（公財）柏崎地域国際化協会
 [他金融機関から振込の場合 ゆうちょ銀行 0五九支店 当座 0039284]

はがきや切手など「ステナイ生活」及び「外国コイン」のご寄付のお願い

切手（未使用・使用済み）、未使用はがき、テレホンカードや外国コインのご寄付を、当協会事務局の収集箱にて募っています。切手とはがき等は、特定非営利活動法人シャプラニールを通して南アジアでの支援に活用します。外国コインは、日本ユニセフ協会へ送付します。



協会マップ



お問い合わせ

（公財）柏崎地域国際化協会

TEL & FAX 0257-32-1477
 Eメール kaia2006@kisnet.or.jp

受付時間 平日9:00～17:00（年末年始・お盆休みを除く）



（公財）柏崎地域国際化協会ニュース 第38号 2026年3月発行
 編集・発行/（公財）柏崎地域国際化協会
 監修/柏崎市産業振興部商業観光課 印刷/アザミデザイン